

TPP交渉における日米協議の概要

平成26年4月10日

内閣官房TPP政府対策本部

- 4月9～10日、東京において、甘利経済再生担当大臣とフロマン米国通商代表が、TPP交渉における日米間の残された課題について集中的に交渉を行った。
- 両閣僚は、一対一の話し合いも行いながら、農産品のいわゆる「重要5品目」と自動車に関する日米双方の立場や事情について、率直な意見交換を行った。
- 日本側からは、TPPが高いレベルの自由化を目指していることを念頭に置きつつ、衆参農林水産委員会の決議等と整合的な成果を得る必要があることを繰り返し主張した。
- 今回の交渉を通じ一定の進展はあったが、双方の立場には依然として相当の距離感がある。
- 先月、安倍総理とオバマ大統領が会談を行った際、交渉を加速化させることで一致していることを踏まえ、引き続き交渉を継続していく。

(以上)